

V I A J E

febrero 20, 2017
土井先生の活動日記
Honduras Vol.10

新学期スタート！

ホンジュラスの学校では2月から新学期。一応始業式みたいなものがありますが、入学式はありません。1週目は学校生活の試運転で、特に新1年生は学校の生活に慣れるために、校内の施設を見学したり、校長室に入るときのルールを学んだりします。土井先生は新学期より2つの学校に行っています。月火金は元々いたマウリシオ・アリアス・ウィリアムス小中学校、水木は Choloma 市にあるディオニシオ小学校。午前午後で先生と生徒が入れ替わるのも同じです。ディオニシオ小学校は中心部にある学校だけあって、午前午後の生徒数は750人ほど。教室もギッチギチ。でも凄く活気のある学校です。去年から行っているマウリシオでは、授業をしています。日本の小学校とちょっと違うのは、ホンジュラスでは5年生で平方根と乗を習います。どちらも中学生で出てくるものなのですが、その布石として2時間だけ学習する時間があります。とはいえ、かけ算がまだ完璧にできない子もいます。何せ学校にコピー機や印刷機が学校になく、あるのは日本の家庭で使うような複合機1台のみ。これでは生徒達用のプリントを作るのは難しく、コピーは外注。そんな状態なので、印刷するプリントはかなり限定しなければなりません。100マス計算などの教材もそんなポンポン印刷できないのがホンジュラス・・・というカラテンアメリカの現状です。ないことを悲観するより、ないなりにどうやってできるかが腕の見せどころです（笑） アナログの画用紙、マジック、セロテープを駆使して教材を活用しています。



子ども達が作った自作のゴミ箱



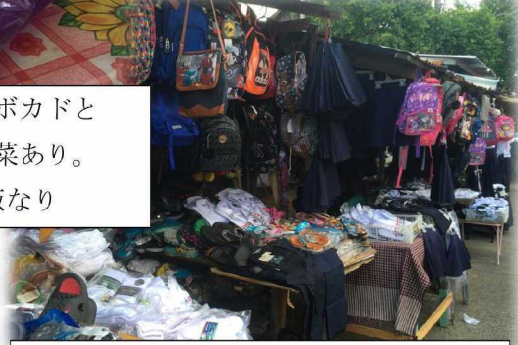
ディオニシオでは下校時に整列



5年生の教室で割り算の復習



鶏肉のグリンガ 中にアボカドと
チーズ、トッピングに野菜あり。
お気に入りのお昼ご飯なり



新学期前はこうやって制服を販売